※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０１９

令和４年度　理科

教科	理科	科目	サイエンスラボ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	自主教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

サイエンスラボでは各学年で扱いきれない科学分野について、独自にテーマを設定し、総合的に科学を学ぶ科目である。取り扱うテーマは、物理分野である光学や力学、熱力学などをはじめ、人間生活における微生物の利用法といった生物分野と化学分野を横断した内容についてなど多岐にわたる。また既に教員側で用意された実験を行うだけでなく、興味のある実験を自由に実施することも可能な科目でもある。これらの中から、生徒の意見を聞き、テーマを絞りながら、学習を進めていく。
サイエンスラボは科学全般を扱うことができるが、決まったテーマについて学ぶ科目ではない。そのため、生徒には主体的・積極的に取り組む姿勢が求められる。特に最新の科学に関するニュースには注目してもらいたい。サイエンスラボでの活動を通じて、科学的な見方を身に付け、自然科学に対する興味・関心を深めてもらいたい。

2　学習の到達目標

日常生活や社会で取り上げられる科学的テーマへの関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力と態度を養うとともに、科学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を培う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	様々な科学事象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、観察、実験などを行い、基本操作を習得する。それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する知識・技能を身につけている。	科学に関する事物・現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	日常生活や社会との関連を図りながら様々な科学事象について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身につけている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	学習テーマの選択・決定	・様々な科学分野を横断的に学ぶ。 ・各自で興味を持てるテーマを探す。 ・生徒全員の興味を持ったテーマを集め、全体のテーマを決定する。	a:様々な科学事象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけているか。科学事象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得できているか。 b: 科学に関する事物・現象の中から問題を見いだせるか。 c: 様々な科学事象について関心をもち、意欲的に探究しようとできているか。	レポート	レポート	発表準備 レポート
2学期	学習テーマの基礎学習	・テーマに関する基礎知識を学ぶ ・テーマによっては発表を行う	a: テーマについて、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけているか。テーマに関する観察、実験などを行い、基本操作を習得できているか。 b:テーマに関する事物・現象の中から問題を見いだせるか。 c:テーマについて関心をもち、意欲的に探究しようとできているか。	レポート	レポート	発表準備 レポート
3学期	学習テーマの深化	・テーマに関する発展的な知識を学ぶ ・テーマによっては発表を行う	a: テーマについて、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけているか。テーマに関する観察、実験などを行い、基本操作を習得できているか。 b: テーマに関する事物・現象の中から問題を見いだし、考察できるか。 c: テーマについて関心をもち、意欲的に探究し、科学的な見方や考え方が身についたか。	レポート	レポート	発表準備 レポート
	まとめ	一年間のまとめ				

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度